

口腔ケアは認知症予防にも必須 市が取り組むべき「健口」

島村大・伏見ゆきえが対談

現役の歯科医師でもある島村大参議院議員と共に歯科助手として働いていた伏見ゆきえ横浜市会議員が口腔ケアについて対談。近年、全身の健康状態と「お口の健康」いわゆる「健口」との関連は注目が高く特に認知症予防や糖尿病重症化予防において口腔ケアの重要性が再認識されている。

企画・制作 伏見ゆきえ事務所

口腔ケアの意義 ことは全身の健康を保つりました。ちなみに口腔伏見 市は歯科保健や意味もあるんです。高齢ケア不足によるリスクは口腔ケアの推進に力を入の方は歯茎がやせてきた他にどんなものがありますか？

併症予防などに繋がる周病の後遺症による磨き忘 島村「噛む」という行為自体が脳の活性化を促進に着手し横浜市歯科医師会、市立大学と連携協 診頻度や日々のケアを特に意識して頂きたいと思

き残し等も原因の一つである歯周病に対し、市は**認知症のリスク対策** 伏見 林文子市長は昨 年の市長定例記者会見で、2025年に市の高齢者人口は約100万人を見込み、がんや脳卒中など生活習慣病による手術を受けると発言しました。各種疾患による術後の口腔ケア不足による合併症肺炎・糖尿病等）の発症や入院日数の長期化などのリスクが今回の連携により軽減できるようになったことは本当に意義が

島村 口の役割とは物を食べる・呼吸する・会話する等が挙げられます。人は食べることで栄養を摂り会話をすることでコミュニケーションをとるなど、生きていく上で欠かせない大事な役割を担っています。健口を保つ



自民党神奈川県参議院選挙区第三支部長
島村 大
前厚生労働委員会委員長 日本・カーナ友好議員連盟幹事長
歯科医師 2013年 参議院議員通常選挙にて初当選



自民党戸塚区連合支部女性局長
伏見ゆきえ
市内歯科医院に勤務しながら島村大参議院議員の秘書業務にも携わり2015年横浜市会議員に初当選